

2年生の総合的な探究の時間での取り組みが 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました！

<文部科学大臣表彰受賞>

2年生の総合的な探究の時間に取り組んできた「高校生にもできる河川の小さな自然再生」が、令和2年度の「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表を受賞しました。

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00460.html

本受賞に当たっては、岐阜県教育委員会から以下のような理由から推薦していただきました。

多治見高校は、活動の科学的根拠を示し、地域の理解を得ながら、国や地方自治体、研究施設、NPO法人、漁業協同組合等の様々な関係機関との協力関係を継続・発展的に築いており、高校で実施されている自然再生手法は、高校生のエコ活動を評価する「イオンエコワングランプリ」の全国大会で内閣総理大臣賞を受賞するなど、学術的評価を得ている。また、市の自然科学館のイベントにおいて、地元の小中学生にも本校の自然再生手法とその意義を広めており、学校だけでなく、地域ぐるみでの継続的な環境保全活動に貢献しているといえる。また、河川の生態系の評価や自然再生の手法について、本校生徒が関連学会で研究成果を発表し、研究者らと熟議を重ねるなどして学びを深めている。

<受賞に関する表敬訪問>

3月10日には、本校の活動に全面的に協力をいただいている土木研究所自然共生研究センター、を表敬訪問しました。自然共生研究センターではセンター長の中村圭吾さんをはじめ、研究員の森照貴さん、坂本貴啓さんに活動内容をポスター発表し、議論を深めることができました。



研究発表の様子（右が中村さん）



全体での集合写真



3月19日には多治見市役所にて、古川雅典市長を表敬訪問し、多治見市土岐川観察館と一層の連携を進め、活動を地域に広げられるよう激励をしていただきました（左写真）。

本活動は、多治見ロータリークラブ、河川基金、多治見市土岐川観察館の支援を受けて実施しています。ご支援ありがとうございます。

担当：佐賀達矢・古田健也